

## 生垣に関する文献目録

湯浅 真\*・日置佳之\*\*

### Reference Table for Hedges

Yuasa Makoto\* and Hioki Yoshiyuki\*\*

#### はじめに

生垣 (hedge) は、住宅地や農地を取り囲むように植栽された帯状の樹木群である。生垣は、防風、防塵、防火、境界の標示、侵入防止、視線の遮断や誘導などの機能を果たすとともに、緑の景観要素として景観の向上に資するところが大きい。

近代化とともにブロック塀などが多用されるようになり、一時は生垣の改廃が進んだが、近年になってその良さが見直され、各地の自治体などで生垣の設置が推奨されている。今後、生活環境の保全や防災において生垣の役割は再び大きくなると考えられる。そこで、生垣に関する実務や研究の発展に資するべく生垣に関する文献・書籍を収集・整理し、文献目録としてまとめた。

単行本および文献の選定にあたっては、国内で出版された書籍、雑誌、報告書を選定の基準とし、生垣に関連する手持ちの文献と共に、インターネット検索（主に Amazon, Yahoo, 紀伊国屋書店, 丸善のホームページ）も利用した。検索にあたってのキーワードは「生垣」、「垣根」とした。

収集した文献は、まず単行本および雑誌のジャンル別に区分した。その上で生垣に関する研究の歴史を把握できるように年次順に配列し、さらに著者氏名のアイウエオ順に配列した。総ページ数については、ページ付けがないものは日本目録規則に基づき「1冊」、文献に記載のない不確かなものはカッコ付け [ ] で、記載がなく何もわからないものは「不明」とした。

この文献目録が生垣をはじめ、緑による環境保全に少しでも役立てば幸いである。

#### [単行本]

1. 上原敬二 (1964) 庭園入門講座 第4巻 樹木の剪定と整姿. 219 pp, 加島書店, 東京.
2. 上原敬二 (1968) 剪定・生垣・庭樹各論. 154 pp, 加島書店, 東京.
3. 岡崎文彬 (1975) 図解生垣・垣根のすべて. 235 pp, 誠文堂新光社, 東京.
4. 誠文堂新光社 (1976) 生垣・樹種と仕立て方. 199 pp, 誠文堂新光社, 東京.
5. 主婦と生活社 (1976) 塀と垣根. 78 pp, 主婦と生活社, 東京.

\*鳥取大学大学院 農学研究科 農林環境科学専攻  
Department of Environmental Science, Graduate School of Agriculture, Tottori University

\*\*鳥取大学農学部 生物資源環境学科 森林科学講座  
Department of Forest Science, Biological and Environmental Sciences, Faculty of Agriculture, Tottori University

6. 有田宗一 (1977) 築地松と植物、築地松と斐川の農村。1冊, 斐川町教育委員会, 不明。
7. 藤田昇 (1978) 庭木・生垣の仕立て方。234 pp, 家の光協会, 東京。
8. 芦原義信 (1979) 町並みの美学。1冊, 岩波書店, 東京。
9. 飯塚紉 (1979) しゃれた垣根・門・生垣づくり。221 pp, 日東書院, 東京。
10. 上原敬二 (1979) 生垣の仕立方と手入れ。168 pp, 加島書店, 東京。
11. 妻鹿加年雄 (1979) 生垣・庭木の手入れ。96 pp, ひかりのくに, 不明。
12. 平岡典明 (1980) 生垣・門・塀 アプローチ・カーポート。158 pp, 家の光協会, 東京。
13. 平岡典明 (1980) 生垣・門・塀-実例:庭のデザインシリーズ。158 pp, 家の光協会, 東京。
14. 渡辺清 (1983) 日曜庭師・入門 今日からプロの庭師になれる 庭木の剪定・生垣から庭石まで。236 pp, 総合科学出版, 東京。
15. 田畑貞寿 (1984) 緑と居住環境。132 pp, 古今書院, 東京。
16. 額田巖 (1984) 垣根 ものと人間の文化誌 52。222 pp, 法政大学出版局, 東京。
17. 上原敬二 (1989) 庭園入門講座 第4巻 剪定・生垣・庭樹各論 庭園入門講座。154 pp, 加島書店, 東京。
18. 三橋一夫 (1991) 生垣・竹垣。157 pp, 家の光協会, 東京。
19. 柳井重人 (1994) 街と緑 緑と環境のはなし (緑と環境のはなし編集委員会編)。技報堂出版, 東京:72-78。
20. 高麗賀美・藤波稔 (1995) 松江の生垣。136 pp, 自費出版, 島根。
21. 高橋淳一郎 (1995) 文化財パトロール ブロック屏が生垣に。出羽路113。秋田県文化財保護協会, 不明。
22. 赤井昭雄 (1996) 庭先でつくる果樹33種 小さく育てて大きく楽しむ。192 pp, 農山漁村文化協会, 東京。
23. ワールドグリーン出版(1996)竹垣と生垣 第5版。332 pp, ワールドグリーン出版, 熊本。
24. 相関芳郎 (1997) 生垣とカバープランツ。133 pp, グラフィック社, 東京。
25. 石田宵三 (1998) 詳解庭のつくり方。166 pp, 農山漁村文化協会, 東京。
26. 中野正生 (1998) エクステリア & ガーデンデザインのための樹木スケッチ集。171 pp, 誠文堂新光社, 東京。
27. 菱山忠三郎 (1998) 身近な樹木 葉、花、実、樹形でわかる400種。391 pp, 主婦の友社, 東京。
28. 丸田頼一・柳井重人・坂巻宗男 (1998) 樹木の防音効果。音と環境の制御技術-第II巻 応用技術- (時田保夫監修)。フジ・テクノシステム:763-769。
29. TU・TI編集室 編 (1998) 鎌倉の小径、うら路、かくれ道 古都の風情がいまに残る。159 pp, 有楽出版社, 東京。
30. 大橋治三 (1999) 日本の庭 形と流れ 下。119 pp, クレオ, 東京。
31. 青山高義・小川肇・岡秀一・梅本享 (2000) 日本の気候景観-風と樹 風と集落-。181 pp, 古今書院, 東京。
32. 高麗賀美・川村淳 (2000) 近景の緑量の数値化 主として緑化イメージ率による表示。1冊, (財)兵庫県勤労福祉協会被災地しごと開発事業部:被災地の生垣マップ (尼崎版), 不明。
33. 三橋一夫 (2000) 新・庭のデザイン実例集(1) 門・塀・生垣・竹垣。157 pp, 家の光協会, 東京。

34. 主婦と生活社 (2001) 新編庭木の選び方と手入れ事典2, 167 pp, 主婦と生活社, 東京.
35. 中根史郎 (2001) 庭のデザイン4, 127 pp, 学研, 東京.
36. 飛田範夫 (2002) 日本庭園の植栽史, 435 pp, 京都大学学術出版会, 京都.
37. 菱山忠三郎 (2003) 身近な樹木 396 種 花、実、葉、樹形で見分ける、用途がわかる, 391 pp, 主婦の友社, 東京.
38. 養父志乃夫 (2003) ホームビオトープ入門 生きものをわが家に招く, 197 pp, 農山漁村文化協会, 東京.

## [ 雑誌 ]

1. 丹羽泉三・池田綾一 (1939) 東京市の生垣, 造園雑誌 6(3): 115 - 139.
2. 池手綾一 (1940) 大阪郊外住宅地の生垣, 造園雑誌 7(2): 59 - 67.
3. 新田伸三 (1949) 生垣の防塵効果について, 造園雑誌 12(2): 7 - 8.
4. 村岡正 (1950) 京都市住宅地の生垣調査, 造園雑誌 14(1): 22 - 26.
5. 関太郎 (1964) 廿日市町附近における生垣の研究, 廿日市の文化(3): 33 - 42.
6. 本多嘉明 (1976) 都市の公害防止に関する樹木と空間効果の基礎的研究, 千葉大学園芸学部学術報告 20: 73 - 91.
7. 白木小三郎ら (1977) 斐川の「築地松」と「中門造」, 大阪市立大学生活科学部紀要 25: 127 - 140.
8. 井手久登 (1978) 景域保全論, 応用植物社会学研究会: 105 - 107.
9. 林正久ら (1980) 出雲平野における築地松分布と卓越風向, 地理科学 34: 1 - 9.
10. 河合宏・堀裕・元村佳恵 (1981) 仙台地方における新興住宅地の生垣について, 宮城県農業短期大学学術報告第 29 号: 12 - 18.
11. 丸田頼一ほか (1983) 住宅地とその接道部の緑化の施策に関する研究, 造園雑誌 46(5): 206 - 210.
12. 進士五十八 (1984) 住環境計画に於ける生垣の意義と設計スケールに就いて, 昭和 49 年度日本造園学会春期大会研究発表紀要: 32 - 36.
13. 岩浪清高・河合宏 (1986) 東北地方における新興住宅地の生垣に関する研究 (第 1 報) 仙台市の 6 住宅団地の生垣について, 宮城県農業短期大学学術報告 34: 1 - 7.
14. 瀬口哲夫・篠部裕・中山佳之 (1986) 風土に関わる建築の形態その 2 渥美町における屋敷林・生垣(1) 有無と方向, 昭和 61 年日本建築学会大会学術講演梗概集 (北海道): 183 - 184.
15. 瀬口哲夫・中山佳之・篠部裕 (1986) 風土に関わる建築の形態 その 2 渥美町における屋敷林・生垣(2) 樹種と高さ, 昭和 61 年日本建築学会大会学術講演梗概集 (北海道): 185 - 186.
16. 河合宏・岩浪清高 (1987) 東北地方における新興住宅地の生垣に関する研究 (第 2 報) 盛岡、花巻、一関、山形および福島各市の生垣について, 宮城県農業短期大学学術報告 35: 1 - 7.
17. 浅見佳世・中尾昌弘・服部保・武田義明・石田弘明 (1988) 三田市フラワータウンにおける戸建て住宅庭園の植物相, 人と自然 9: 115 - 126.
18. 河合宏・岩浪清高 (1988) 東北地方における新興住宅地の生垣に関する研究 (第 3 報) 青森、秋田および米沢各市の生垣について, 宮城県農業短期大学学術報告 36: 1 - 7.

19. 金子信博ら (1989) 斐川町における築地松枯損の発生と分布パターンの解析. 山陰地域研究 (森林資源) 9 : 17 - 26.
20. 河合宏・岩浪清高 (1989) 東北地方における新興住宅地の生垣に関する研究 (第4報) いわき市、山元町、亘理町および七ヶ浜町の生垣について. 宮城県農業短期大学学術報告 37 : 9 - 17.
21. 坂本磐雄・山口紘・田中正美・前田修 (1990) 緑化協定制度による戸建て住宅生垣化効果に関する研究. 都市計画論文集 25 : 241 - 246.
22. 柳井重人 (1990) 東京都区部における生垣の分布実態と諸課題. 環境情報科学 19 (4) : 58 - 62.
23. 近江慶光・渡辺里花・丸田頼一 (1992) 茨城県取手市における生垣等の困障実態に関する研究. 造園雑誌 55 (5) : 361 - 366.
24. 柳井重人 (1992) 東京都区部における生垣の分布特性に関する研究. 環境情報科学 21 (1) : 66 - 71.
25. 柳井重人・石井正一・丸田頼一 (1993) 千葉県大原町におけるツバキを中心とした生垣の分布実態に関する研究. 造園雑誌 56 (5) : 277 - 282.
26. 柳井重人・島田正文・田中隆・丸田頼一 (1993) 長野市における生垣を中心とした敷地困障の分布特性に関する一考察. 環境情報科学 22 (2) : 101 - 107.
27. 柳井重人・新井浩之・丸田頼一 (1994) 千葉市における生垣の分布特性に関する研究. 造園雑誌 57 (5) : 343 - 348.
28. 柳井重人・坂口道之・丸田頼一 (1994) 出雲平野における築地松の分布実態と保護に関わる課題. 第7回環境情報科学論文集 : 46 - 51.
29. 柳井重人・丸田頼一 (1995) 東京都八王子市における生垣の分布特性に関する研究. 第8回環境情報科学論文集 : 33 - 38.
30. 柳井重人・保田圭一・丸田頼一 (1995) 東京都大田区における生垣分布実態と住民意識に関する研究. ランドスケープ研究 58 (5) : 273 - 276.
31. 伊藤亜希子・柴田昌三 (1996) 住宅地における生垣の変遷について. 平成8年度日本造園学会関西支部大会要旨集 : 16 - 19.
32. 柳井重人・丸田頼一 (1996) 住居系市街地における困障分布の動態に関する研究. 第10回環境情報科学論文集 : 61 - 66.
33. 石田弘明・中尾昌弘 (1997) 三田市フラワータウンの戸建て住宅の生垣. 人と自然 8 : 151 - 157.
34. 奥田重俊・中村幸人 (1998) 奄美諸島における生垣の植生学的考察. 横浜国立大学環境研究紀要 15 : 167 - 174.
35. 飛田範夫 (1999) 日本の生垣の歴史的変遷について. ランドスケープ研究 62 (5) : 413 - 416.
36. 柳井重人・丸田頼一 (2000) 住居系市街地における緑化の役割と課題. 日本不動産学会誌 14 (1) : 17 - 22.